精神科領域専門医研修プログラム

■　専門研修プログラム名：　東海大学医学部精神科専門研修プログラム

■　プログラム担当者氏名：　山本　賢司

住　　所：〒259-1193　神奈川県伊勢原市下糟屋 143

電話番号：　0463 - 93 - 1121

F　A　X：　0463 - 94 - 5532

E - m a i l：　key@is.icc.u-tokai.ac.jp

■　専攻医の募集人数：（　　8　　）人

■　専攻医の募集時期、応募方法、採用判定方法：

現在調整中のため、詳細は以下に問い合わせるか、ホームページを参照。

問合せ先：　東海大学医学部付属病院　臨床研修部

〒259-1193　神奈川県伊勢原市下糟屋 143

電話：0463（93）1121　（内線 4035）

E-mail：kensyuu@tokai-u.jp

臨床研修部ホームページ: http://www.fuzoku-hosp.tokai.ac.jp/rinsho/

（大学院への進学も検討している場合は以下のホームページも参照

大学院ホームページ：http://www.med.u-tokai.ac.jp/daigakuin/）

Ⅰ　専門研修の理念と使命

１．　専門研修プログラムの理念（全プログラム共通項目）

精神科領域専門医制度は、精神医学および精神科医療の進歩に応じて、精神科医の態度・技能・知識を高め、すぐれた精神科専門医を育成し、生涯にわたる相互研鑽を図ることにより精神科医療、精神保健の向上と社会福祉に貢献し、もって国民の信頼にこたえることを理念とする。

２．　使命（全プログラム共通項目）

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

３．　専門研修プログラムの特徴

東海大学病院精神科専門研修プログラムは、東海大学医学部付属病院、東海大学医学部付属八王子病院、湘南東部に位置する 8 つの精神科病院と神奈川県精神保健福祉センターの 11 施設で構成されている。1 年目は基本的に研修基幹病院である医学部附属病院で、2,3 年目は研修連携施設の精神科病院、東海大学医学部付属八王子病院をローテートして研修を行うが、専攻医の希望により調整は可能である。専攻医は年 8 名を予定している。

研修基幹施設である東海大学医学部附属病院は神奈川県伊勢原市の伊勢原キャンパス内に位置している。精神科は医学部開設当初から児童精神医学・力動的精神医学を柱として、診療・教育・研究を行ってきた。現在はそれらに加え、コンサルテーション・リエゾン精神医学や救命救急精神医学、緩和ケアやサイコオンコロジーなどにも力を入れている。研修は外来（成人、児童）と一般病棟、救命センターでのリエゾン、緩和ケアチームでの活動を中心に、面接法、精神療法、薬物療法の基本を学ぶ。1 年を通して定期的に行われている専攻医向けの講義、症例検討会、ロールプレイによる面接・診断技術の習得の他にも、成人臨床精神医学研究会（月 1 回)、児童精神科医学研究会（月 2 回)、リサーチミーティング（月 1 回）などで研究・学会発表の指導を受ける。

以下、愛光病院、けやきの森病院、国府津病院、相州病院、曽我病院、丹沢病院、秦野病院、秦野厚生病院、神奈川県精神保健福祉センター、東海大学医学部付属八王子病院は研修連携施設である。研修連携施設では、実際に病棟主治医となり、診断や治療計画、精神科治療、リハビリテーション、地域医療などを学ぶ。愛光病院は厚木市にあり、精神科急性期治療病棟、療養病棟以外に児童思春期病棟を有し、児童思春期の精神疾患患者の入院治療に対応している。けやきの森病院は高座郡寒川町にあり、精神科急性期治療病棟、療養病棟を中心に入院治療を行っている。国府津病院は小田原市にあり、精神科急性期治療病棟、療養病棟、認知症治療病棟を有している。相州病院は厚木市にあり、精神科急性期治療病棟、療養病棟、認知症治療病棟を有するが、急性期治療病棟では修正型電気けいれん療法も行っている。曽我病院は小田原市にあり、スーパー救急病棟、療養病棟、認知症治療病棟などを有している。丹沢病院、秦野病院、秦野厚生病院は秦野市にあり、精神科急性期治療病棟、療養病棟を有している。精神保健福祉センターは行政機関であり、神奈川県の精神保健福祉の中核的な役割を担っている。東海大学医学部付属八王子病院は東京都八王子市にあり、精神科病床を有さず、一般病棟、緩和ケアチームなどでの活動が中心となる。

II. 専門研修施設群と研修プログラム

１．　プログラム全体の指導医数・症例数

■　プログラム全体の指導医数：　34 人

■　昨年一年間のプログラム施設全体の症例数

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	785	157
F1	226	67
F2	3,781	820
F3	2,378	379
F4	1,662	107
F5	703	11
F6	228	45
F7	278	13
F8	785	40
F9	380	8

２．　連携施設名と各施設の特徴

A　研修基幹施設

・施設名：東海大学医学部付属病院

・施設形態：大学病院

・院長名：飯田　政弘

・プログラム統括責任者氏名：山本　賢司

・指導責任者氏名：山本　賢司

・指導医人数：（　5　）人

・精神科病床数：（　0　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数	新入院患者数

	(年間)	(年間)
F0	99	0
F1	16	0
F2	248	0
F3	420	0
F4	658	0
F5	601	0
F6	73	0
F7	143	0
F8	476	0
F9	241	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

東海大学医学部付属病院精神科は開設当初より児童精神医学・力同精神医学を柱として、診療・教育・研究を行って来た。現在はそれらに加え、コンサルテーション・リエゾン精神医学や救命救急精神医学、緩和ケアやサイコオンコロジーにも力を入れている。

当院の病棟では一般身体科病棟での併診業務が中心となる。身体疾患で入院治療中に精神的なケアが必要となった患者さんの所へ行き、患者さんやその家族、また病棟で必要とされる精神面での関わりを行い、主科の治療に貢献している。現在、併診を行うチームは “精神科リエゾン”、“緩和・サイコオンコロジー”、“救急”の 3 つに分かれて診療しており、抑うつ、適応障害、せん妄など入院中に診られる精神疾患だけでなく、緩和医療、小児、妊産婦、無菌室治療患者など多彩なケースを経験することができる。外来は、児童と成人に別れており、それぞれの専門性を生かした診療が行われている。臨床助手は、それぞれ上級医からのスーパービジョンを受けられるようになっており、上級医の指導を受けながら研修できるシステムを採用している。さらに、1 年を通して定期的に行われている専攻医向けの講義、症例検討会、ロールプレイによる面接・診断技術の習得の他にも、成人臨床精神医学研究会（月 1 回）、児童精神科医学研究会（月 2 回）、リサーチミーティング（月 1 回）などで研究・学会発表の指導を受ける。研修連携施設に出向中でも、上記の講義やミーティングには参加可能である。

また、地域の自殺対策への協力、救急医療における精神症状評価と初期診療（Psychiatric Evaluation in Emergency Care, PEEC）コースの主催や、児童相談所、療育施設、特別支援学校などの院外業務もあり、地域における社会貢献にも力を入れている。

B　研修連携施設

① 施設名：医療法人弘徳会　愛光病院

・施設形態：医療法人　単科精神科病院

・院長名：竹内　知夫

・指導責任者氏名：竹内　知夫

・指導医人数：（　5　）人

・精神科病床数：（　359　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	43	8
F1	6	0
F2	1,032	202
F3	447	95
F4	383	36
F5	54	0
F6	10	1
F7	80	0
F8	254	17
F9	55	1

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

入院医療では、急性期治療病棟及び児童思春期精神科入院医療管理料を算定する病棟を中心に、児童思春期から老年期まで幅広い年代の入院医療を行っており、その他にもうつ・ストレスケア病棟、精神療養病棟、精神一般病棟も有して、急性期から早期社会復帰、慢性期まで幅広く症例を学ぶことができる。また、質の高い精神科医療が提供できるよう施設基準以上のスタッフの配置や看護師比率の高さなども特色である。

外来医療では、統合失調症患者の治療の他、思春期専門外来やうつ・ストレス系疾患の専門外来なども行っている。デイケアでは、統合失調症を中心としたプログラムと休職中の方を対象とした多職種によるリワークプログラムを行ってい

る。その他にも臨床心理士を多数配置したカウンセリングや多職種による精神科訪問看護なども積極的に展開している。

併設施設：デイケアセンター、精神科作業療法、精神科訪問看護、精神障害者福祉ホーム、クリニック、精神科救急輪番など

② 施設名：医療法人社団朋友会　けやきの森病院

・施設形態：医療法人　単科精神科病院

・院長名：堤　康彦

・指導責任者氏名：堤　康彦

・指導医人数：（　2　）人

・精神科病床数：（　184　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	6	4
F1	6	2
F2	496	102
F3	306	32
F4	216	12
F5	28	2
F6	2	2
F7	4	0
F8	2	4
F9	4	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

神奈川県湘南東部地区における 184 床を有する単科精神科病院である。精神科急性期治療病棟 44 床、精神科療養病棟 140 床で運営しており、H24～H26 年まで年平均 212 件の入院受け入れを行っている。

主に統合失調症圏が 7 割、気分障害圏が 2 割、その他 1 割の入院患者となっており、外来は気分障害圏が増加してきている。これに合わせてデイケアにおいて

リワークプログラムを 3 年前から導入し、1 日平均 7～8 名前後が利用している。

③　施設名：医療法人清輝会　国府津病院

・施設形態：医療法人　単科精神科病院

・院長名：山田　聡敦

・指導責任者氏名：山田　聡敦

・指導医人数：（　2　）人

・精神科病床数：（　260　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	74	17
F1	139	30
F2	484	107
F3	341	76
F4	28	6
F5	12	5
F6	117	25
F7	13	2
F8	19	2
F9	9	2

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院は精神科急性期治療病棟 50 床･認知症治療病棟 50 床･精神科療養病棟 160 床を有しており、年間入院患者 272 名・外来患者 13,010 名を受け入れている。

また、思春期疾患・アルコール依存・認知症疾患も対応可能である。精神科デイナイトケア（月～金まで毎日実施）を始め、作業療法等リハビリ部門が活動的に運営している。

④　施設名：医療法人社団青木末次郎記念会　相州病院

・施設形態：医療法人　単科精神科病院

・院長名：三浦　賢吾

・指導責任者氏名：西本　雅彦

・指導医人数：（　4　）人

・精神科病床数：（　263　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	34	39
F1	13	13
F2	456	162
F3	149	83
F4	20	20
F5	3	3
F6	12	12
F7	7	7
F8	6	6
F9	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

相州病院は神奈川県県央地区（厚木市）に於いて、精神科急性期治療病棟（60床)、精神療養棟（157 床：内高齢者対応 58 床)、認知症治療病棟（46 床）と幅広く入院を受け入れている。

急性期治療病棟では治療環境として PICU や個室を十分に確保している。また、各職種がクリニカルパスを共有しながら 3 ヶ月以内に在宅へ退院ができるような治療実践を積み重ねてきた。3 ヶ月を超える難治傾向にある患者様へは、療養病棟においてグループ活動や集団精神療法などを駆使し、より充実した治療ができる努力や工夫を重ねている。認知症治療病棟についても専門的な「診断」「治療」が安心安全に行われるよう積極的に取り組んでいる。2014 年 12 月からは、重篤なうつ病や薬物治療では難治なケースにおいて修正型電気けいれん療法を実施し、これまでに比較して良好な実績を残している。2015 年 4 月からは、各疾患の診断補助として光トポグラフィー検査を導入、運用をしている。

この様な入院治療環境と共に在宅においても、安心して医療を受けられるよう

法人内のクリニックとの連携を密にし、地域での安定した生活を送れる支援を行っている。患者、利用者様の自立した生活への支援のためのグループホーム、就労継続支援（B 型）といった福祉サービスとの連携を密にしている。訪問看護ステーション･在宅介護支援･海老名市相談事業等の福祉サービスも展開している。関連クリニックでは精神科・心療内科として一般的な薬物治療だけではなく必要な方には時間をかけた力動的精神療法を合わせて実施。また、職場復帰サポートコース・リワークに特化したデイケアも含めクリニック・デイケアも充実している。さらに、「乳幼児家族診療センター」を設置しており、子育ての悩み、発達障害児へのアプローチなど「親と子」への援助も行っている。当法人だけでなく地域において様々な機関（医療・行政・産業・教育等）とともにネットワークを構築し、社会貢献の一助になればと考えている。

⑤　施設名：公益財団法人積善会　曽我病院

・施設形態：公益財団法人　単科精神科病院

・院長名：長谷川　剛

・指導責任者氏名：長谷川　剛

・指導医人数：（　5　）人　　うち　常勤 4 名　非常勤 1 名

・精神科病床数：（　399　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	291	35
F1	26	16
F2	669	140
F3	467	56
F4	229	25
F5	2	1
F6	6	4
F7	26	3
F8	15	7
F9	34	3

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

当院精神科は７病棟、３９９床と比較的規模が大きい。精神科救急入院料１を１病棟、認知症治療病棟１を２棟、精神療養病棟４棟の構成は、救急患者、認知症患者への対応を研修し、急性期から慢性期そして社会復帰へと幅広い包括的な精神医療が経験できるのが最大の特徴である。また当法人が公益法人であるため、地域との協力体制を心掛けており、福祉施設との連携から障碍者を地域でいかに支えていくかという点についても研修を行う。さらには、夜間休日救急医療体制における措置鑑定や簡易鑑定、医療観察法による触法患者の治療、検察庁による精神鑑定を行う機会もあり、司法精神医学の経験も積むことができる。

⑥　施設名：医療法人　丹沢病院

・施設形態：医療法人　単科精神科病院

・院長名：関口　剛

・指導責任者氏名：関口　剛

・指導医人数：（　８　）人　　うち　常勤４名　非常勤４名

・精神科病床数：（　318　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	238	54
F1	20	6
F2	393	107
F3	239	37
F4	127	8
F5	3	0
F6	6	1
F7	3	1
F8	13	4
F9	37	2

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

措置入院から合併症まで幅広く扱い、特別養護老人ホームなど関連施設への訪

問診察も積極的に行っている。また、ご自宅や地域での継続した生活を支援するため訪問看護にも力を入れている。

同時に開かれた精神科病院を実施するため、地域の方を対象に認知症のセミナーの開催や、地元のお祭りにも積極的に参加している。そして、デイケアプログラムとして新たに就労支援、リワーク、アンチエイジングを行うとともに、2016年より臨床心理士を 2 名増員（合計常勤５名）させ、ストレスチェック制度など企業と労働者の橋渡しの役割を当院で果たせるように努めていく。

⑦　施設名：神奈川県精神保健福祉センター

・施設形態：精神保健福祉センター

・院長名：（所長）山田正夫

・指導責任者氏名：山田正夫

・指導医人数：（　3　）人　うち　常勤 2 名　非常勤 1 名

・精神科病床数：（　0　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	0	0
F1	0	0
F2	3	0
F3	9	0
F4	1	0
F5	0	0
F6	2	0
F7	0	0
F8	0	0
F9	0	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

診療所としての登録はしているが、当センターの性質上、又、隣が県立精神医療センターであることもあり、現在通常の通院治療は行っていない。当センターで扱う事業（自殺対策等）に関連して相談を受けた患者の見立てや治療導入、県

職員の復職審査関連の診察といった特殊な外来診療に限られているため、外来患者数は極めて少数である。

⑧　施設名：医療法人社団秦和会　秦野病院

・施設形態：単科精神科病院

・院長名：笠原　友幸

・指導責任者氏名：新井　綾子

・指導医人数：（　２　）人

・精神科病床数：（１５１）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	のべ外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	80	36
F1	64	8
F2	9459	76
F3	10381	67
F4	6039	21
F5	282	0
F6	363	5
F7	32	1
F8	492	3
F9	400	1
G	387	1

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

県救急輪番体制に参加し救急当番病院として精神科救急を行っている。また、デイケア、就労支援施設、グループホームなども備えている。統合失調症を中心とする疾患の急性期から社会復帰にいたるまでサポートできる体制を備えている。

近年増加したメンタルヘルスに対応するために外来機能を充実させ心理面接やリワークデイケア活動を実施している。さらに医療観察法による指定通院医療機関でもあり保護観察所とも連携している。

⑨ 施設名：医療法人社団厚仁会　秦野厚生病院

・施設形態：民間単科精神科病院

・院長名：坂井喜郎

・指導責任者氏名：坂井喜郎

・指導医人数：（　３　）人

・精神科病床数：（　１６０　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	のべ外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	81	40
F1	10	7
F2	488	84
F3	301	34
F4	144	8
F5	19	0
F6	33	12
F7	87	10
F8	26	5
F9	2	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

急性期治療と地域生活支援を二本柱として、医師、看護師をはじめ、精神保健福祉士､作業療法士など多数のコ･メディカルとのチームワーク医療を実践している。民間精神科病院の立ち位置としては、在宅での生活に軸足を置いた医療を目指しており、訪問看護やデイケアのみならず、就業までを含めた幅広いサポートを実施している。

⑩ 施設名：東海大学医学部付属八王子病院

・施設形態：大学病院

・院長名：渡辺　勲史

・指導責任者氏名：玉井　康之

・指導医人数：（　１　）人

・精神科病床数：（　　０　）床

・疾患別入院数・外来数（年間）

疾患	のべ外来患者数 （年間）	新入院患者数 （年間）
F0	287	0
F1	121	0
F2	875	0
F3	2401	0
F4	2075	0
F5	19	0
F6	47	0
F7	25	0
F8	0	0
F9	24	0

・施設としての特徴（扱う疾患の特徴等）

大学病院、総合病院であることから、身体疾患を合併した患者さんの通院、入院が多い。外来部門では地域の患者さんを担当している。精神科病棟はないため、入院が必要な患者さんは近隣の精神科病院と連携して入院先医療機関を紹介している。入院部門では他科に入院している患者さんがせん妄や不安､抑うつ症状などを呈したり､既に精神科疾患を抱えている患者さんが入院されたりした場合、入院中、必要に応じて併診し､精神面の治療やサポートを行っている。また緩和ケアチームの一員として、がん患者さんに限らず緩和ケアの精神面を担当している。

３．　研修プログラム

１）　年次到達目標

精神科専門医は初期臨床研修（2 年間）終了後に専門研修（後期研修）を 3 年間行い、合計 5 年間の研修で取得資格が得られる。東海大学医学部精神科専門研修プログラムは専門研修（後期研修）に該当し、3 年間の年次到達目標は以下の通りである。また、専門研修期間中に大学院へ進むことも可能である（ハイブリッド方式)。大学病院において診療登録を行い、臨床に従事しながら臨床研究を進めるのであれば、その期間は専門研修として扱われる。しかし、大学院の基礎的研究のために診療業務に携わらない期間は、研修期間とはみなされない。

1 年目：指導医とともに器質性・症状性精神障害、統合失調症、気分障害、神経症性障害・ストレス関連障害、パーソナリティ障害の患者を受け持ち、患者や家族への面接の仕方、精神科診断と治療計画、精神科的治療（薬物療法、精神療法、精神科リハビリテーション）の基本を学ぶ。

大学病院で研修を開始する場合には、一般病棟や救命センターでの精神科コンサルテーション・リエゾン、緩和ケアが中心となり、指導医とともに一般病棟や救急病棟、ICU などをチームで回診し、上記を学ぶ。精神科病院で研修を開始する場合には精神科病棟（急性期治療病棟、スーパー救急病棟、精神科療養病棟、認知症医療病棟のいずれか）で指導医とともに患者を受け持ち、上記を学ぶ。また、どちらで研修を開始しても、自分の受け持った症例について、院内の症例検討会やカンファレンスなどで発表を行う。知識、理論的な面ついては、年間通して大学病院で行われている専攻医向けの講義で学習する。

2 年目：指導医の指導を受けながら、患者や家族との面接技能を高め、精神科診断と治療計画（特に、身体疾患と精神疾患の鑑別、児童青年期症例への対応と評価)、薬物療法の能力を充実させる。精神療法に関しては認知行動療法や力動的精神療法、集団精神療法の基礎理論と技法を学ぶ。また、精神科救急は各精神科病院の指導医の下で直接従事して対応の仕方を学ぶ。また、神奈川県精神保健福祉センターにおいて精神科救急における措置診察の見学を行い、事例検討へ参加する。児童・思春期症例や依存症、認知症などについても、実際の診断、治療を経験する。児童・思春期の症例については、大学病院の外来や児童精神科医学研究会への参加、愛光病院児童思春期病棟などでの研修を行う。依存症を含めた物質関連障害については、急性期の対応については大学病院で急性中毒や離脱症状等の症例を経験し、その対応や依存症治療への導入について学ぶ。また、国府津病院、秦野病院等の関連病院でも急性期及び慢性期の治療を行っており、集団精神療法、薬物療法、作業療法、アルコール勉強会へ参加して知識と経験を深める。さらに、神奈川県精神保健福祉センターの依存症関連研修会の見学を行うことにより、病院から地域での物質関連障害や依存症への取り組みを学ぶ。大学病院は認知症疾患治療センターも有しており、講義や外来・入院治療を通して認知症の診断や薬物療法を中心に環境調整、関わり方、社会資源の利用についての基本的な知識を身に付ける。また、長期的に入院を要する場合には、関連病院

の中で認知症治療病棟を有する相州病院、曽我病院、国府津病院、秦野厚生病院等において、集団精神療法、薬物療法や作業療法を学ぶ。自分の受け持った症例について、院内の症例検討会やカンファレンスなどで発表を行う。上記を大学病院、精神科病院で上記を学ぶ。

年 4 回神奈川県精神保健福祉センターにおいて、地域支援としての精神保健福祉コンサルテーション、精神科救急における措置診察の見学や事例検討への参加、精神保健福祉センター法定業務としての精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定などの見学を行い、行政や地域医療の仕組みを理解する。

3 年目：指導医から自立して診療ができるようにする。診断と治療計画、薬物療法をさらに充実させ、精神療法についてもスーパーバイザーの元で実施する。精神科リハビリテーション、地域精神医療などを学び、チーム医療や医療チームでのリーダーシップについても学習する。東京精神医学会、神奈川県精神医学会、神奈川県心身医学会などの学会、その他の学会や研究会で症例・研究についての発表をする。

上記を精神科病院で行い、神奈川県精神保健福祉センターの見学も継続する。

2） 研修カリキュラムについて

研修カリキュラムは、「専攻医研修マニュアル」（別紙）、「研修記録簿」（別紙）を参照。

3） 個別項目について

① 倫理性・社会性

基幹施設において他科の専攻医とともに研修会が実施される。また、基幹施設では、精神科コンサルテーション・リエゾンを通して身体科と連携し、医師としての責任や社会性、倫理観などについて、多くの先輩や他の医療スタッフからも学ぶ機会を得る。

② 学問的姿勢

東海大学医学部精神科専門研修プログラムでは大学病院、精神科病院、神奈川県精神保健福祉センターなどでの研修以外にも、東海大学が総合大学であるために健康科学部看護学科、社会福祉学科、文学部心理学科、教養学部との交流もあり、勉強会や共同研究が行われている。それらの学部の教員からも学問的姿勢を学ぶ機会が得られる。

専攻医は医学・医療の進歩に遅れることなく、常に研鑽自己学習することが求められる。すべての研修期間を通じて、与えられた症例を院内の症例検討会で発表することを基本とし、その過程で過去の類似症例を文献的に調査するなどの姿勢を心がける。その中で特に興味ある症例については、地方会等での発表や学内誌などへの投稿を進める。

③　コアコンピテンシーの習得

研修期間を通じて、１）患者関係の構築、２）チーム医療の実践、３）安全管理、４）症例プレゼンテーション技術、５）医療における社会的・組織的・倫理的側面の理解、を到達目標とし、医師としてのコアコンピテンシーの習得を目指す。さらに精神科診断面接、精神療法、精神科薬物療法、リエゾン・コンサルテーションといった精神科医特有のコンピテンシーの獲得を目指す。

④　学術活動（学会発表、論文の執筆等）

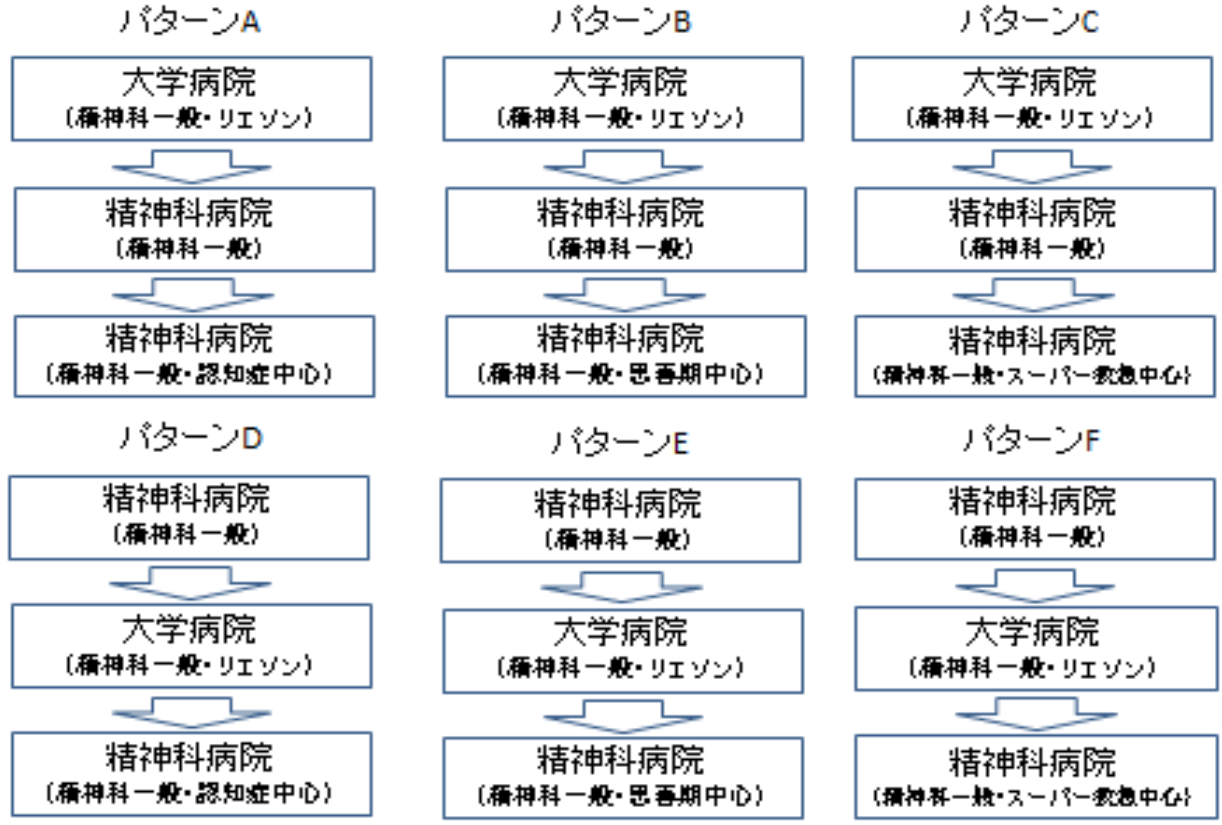
基幹施設では成人臨床精神医学研究会（月１回）、児童精神科医学研究会（月２回）、リサーチミーティング（月１回）などが開催されており、その中で研究や学会発表の指導を受ける。現在進行している臨床研究、基礎研究に従事し、その成果を学会や論文として発表する。

⑤　自己学習

基幹施設において臨床研究、基礎研究に従事しその成果を学会や論文として発表する。

４）　ローテーションモデル（下図参照）

典型的には１年目に基幹施設である東海大学病院をローテートして、精神科医としての基本的な知識を身につける。2～3 年目には連携施設である単科精神病院をローテートして、療養病棟、急性期治療病棟もしくはスーパー救急病棟で主治医として勤務し、精神科救急症例、急性期症例、難治症例、児童、認知症症例など精神科臨床において一般的なことを幅広く経験する。そして、診断のための臨床検査や心理検査、治療としての精神療法や薬物療法、精神科リハビリテーション、精神保健福祉法や社会資源などの知識や技術を深める。認知症や思春期症例、スーパー救急症例についてより深く学びたい希望がある場合には、認知症治療病棟、思春期病棟、スーパー救急病棟を有する連携施設での研修が可能である。また、2～3 年目に神奈川県精神保健福祉センターでの研修を年 4 回（1 回 1 日）実施するが、それ以外にも同センターでの長期の研修を希望する場合には、1 カ月間の研修が可能である。3 年間のローテート順については、専攻医の希望に応じて柔軟な対応が可能である。



＊精神保健福祉センターへの年数回の見学は必須。精神保健福祉センターへの長期出向は応相談。

5） 研修の週間・年間計画

各施設の研修に関する週刊計画は本プログラムの P18-P26 を、年間計画は P27-P37 を参照。

4． プログラム管理体制について

・プログラム管理委員会

- 委員長 医師：山本　賢司
- 医師：竹内　知夫
- 医師：堤　康彦
- 医師：山田　聡敦
- 医師：西本　雅彦
- 医師：長谷川　剛
- 医師：関口　剛
- 医師：笠原　友幸
- 医師：坂井　喜郎
- 医師：玉井　康之
- 医師：山田　正夫
- 看護師：鈴木　洋子

- 精神保健福祉士：内田　敦子

・プログラム統括責任者
　山本　賢司

・ 連携施設における委員会組織
　各連携病院の指導責任者および実務担当の指導医によって構成される。

５．　評価について

１）評価体制

東海大学病院：山本　賢司
愛光病院：竹内　知夫
けやきの森病院：堤　康彦
国府津病院：山田　聡敦
相州病院：西本　雅彦
曽我病院：長谷川　剛
丹沢病院：関口　剛
秦野病院：笠原　友幸
秦野厚生病院：坂井　喜郎
東海大学付属八王子病院：玉井　康之
神奈川県精神保健福祉センター：山田　正夫

２）評価時期と評価方法

・3 か月ごとに、カリキュラムに基づいたプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認し、その後の研修方法を定め、研修プログラム管理委員会に提出する。
・研修目標の達成度を、当該研修施設の指導責任者と専攻医がそれぞれ６ヶ月ごとに評価し、フィードバックする。
・1 年後に 1 年間のプログラムの進行状況並びに研修目標の達成度を指導責任者が確認し、次年度の研修計画を作成する。またその結果を統括責任者に提出する。
・その際の専攻医の研修実績および評価には研修記録簿／システムを用いる。

３）研修時に則るマニュアルについて

「研修記録簿」（別紙）に研修実績を記載し、指導医による形成的評価、フィードバックを受ける。総括的評価は精神科研修カリキュラムに則り、少なくとも年１回おこなう。

東海大学病院にて専攻医の研修履歴（研修施設､期間、担当した専門研修指導医)、研修実績、研修評価を保管する。さらに専攻医による専門研修施設および専門研修プログラムに対する評価も保管する。

プログラム運用マニュアルは以下の専攻医研修マニュアルと指導医マニュアルを用いる。

- 専攻医研修マニュアル（別紙）
- 指導医マニュアル（別紙）

・専攻医研修実績記録

「研修記録簿」に研修実績を記録し、一定の経験を積むごとに専攻医自身が形成的評価をおこない記録する。少なくとも年に１回は形成的評価により、指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的自己評価をおこなうこと。研修を修了しようとする年度末には総括的評価により評価が行われる。

・指導医による指導とフィードバックの記録

専攻医自身が自分の達成度評価をおこない、指導医も形成的評価をおこない記録する。少なくとも年１回は指定された研修項目を年次ごとの達成目標に従って、各分野の形成的評価をおこない評価者は「劣る」、「やや劣る」の評価をつけた項目については必ず改善のためのフィードバックをおこない記録し、翌年度の研修に役立たせる。

６．　全体の管理運営体制

１）　専攻医の就業環境の整備（労務管理）

各施設の労務管理基準に拠する。東海大学医学部精神科研修プログラムでは、特に女性医師、家族等の介護を行う必要のある医師に十分な配慮を心掛けている。専攻医の勤務時間、休日、当直、給与などの勤務条件については、労働基準法を遵守し、各施設の労使協定に従う。さらに、当直業務と夜間診療業務の区別とそれぞれに対応した適切な対価を支払うこと、学会・研究会出張への配慮などのバックアップ体制、適切な休暇（年次有給休暇，夏期休暇など休養についての配慮）、社会保険（健康保険、厚生年金、雇用保険等）などについて、雇用契約を結ぶ時点で説明を行う。

研修年次毎に専攻医および指導医は専攻医研修施設に対する評価も行い、その内容は東海大学医学部精神科専門研修管理委員会に報告されるが、そこには労働時間、当直回数、給与など、労働条件についての内容が含まれている。

２）　専攻医の心身の健康管理

各施設の健康管理基準に拠する。

３）　プログラムの改善・改良

基幹施設の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて、定期的プログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。

４） ＦＤの計画・実施

年１回、 プログラム管理委員会が主導し、各施設における研修状況を評価する。

◆週間スケジュール

①東海大学医学部付属病院

	月	火	水	木	金
8:00 ～9:00	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	カンファレンス	外来業務
9:00～12:00	＊リエゾン 緩和ケア・ カンファレンス	リエゾン	リエゾン	教授回診	外来業務
13:00～16:00	リエゾン 産科・小児科 カンファレンス	リエゾン	＊＊＊ 関連病院	リエゾン	外来業務
16:00～18:00	医局会 リサーチ ミーティング	BMT カンファレンス	関連病院	リエゾン	リエゾン
18:00～20:00	講義 （不定期）	成人研究会 （月1）		児童研究会 （月 2）	

＊　　ER、一般併診、緩和ケア・オンコロジーのいずれか

＊＊　　外来業務は週に半日から 1 日

＊＊＊　関連病院での業務は週に半日

◆週間スケジュール
②医療法人弘徳会　愛光病院

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	外来診療 ※)1	病棟業務	自己学習	病棟業務	病棟業務
13:00～17:00	病棟業務 ※)2	病棟業務 ※)2	自己学習	病棟業務 ※)2	病棟業務 ※)2
(16:30)～18:00	医局会議 ※)3				

※）１　外来診療は原則週１回（半日）。
また、ローテーションにより随時新患外来の診療を行う。

※）２　適宜、病棟にて受持ち患者のカンファレンス、受持ち患者の退院支援委員会に参加する。

※）３　毎月１回第３月曜日の 16 時 30 分より、医局会議に参加する。

◆週間スケジュール

③医療法人社団朋友会　けやきの森病院

	午前(9:00～12:00)	午後(13:00～17:00)	
月	病棟業務または外来研修	病棟業務	
火	病棟業務または外来研修	病棟業務	
水	病棟業務または外来研修	病棟業務	クルズス
木	病棟業務または外来研修	病棟業務	
金	病棟業務または外来研修	病棟業務	症例検討会(隔週)
土	病棟業務または外来研修	病棟業務	心理教育

◆週間スケジュール
④医療法人清輝会　国府津病院

	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	外来診療 病棟業務 医学生(学外) 実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務
13:00～17:00	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 入退院カンファレンス 医局会	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務 医学生実習	外来診療 病棟業務
17:00～19:00		研究会				

外来診療：一般外来
物忘れ外来
児童・思春期外来（大学より派遣医師による）

病棟業務：急性期治療病棟（閉鎖病棟）
慢性期治療病棟（閉鎖病棟２棟、開放病棟１棟）
認知症治療病棟

他、デイナイトケア、訪問看護、支援ホームを有しておりそれぞれについて
学習出来る。

◆週間スケジュール

⑤医療法人社団青木末次郎記念会　相州病院

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務
13:00～17:00	病棟業務 急性期病棟カンファレンス	医局会	病棟業務 急性期病棟カンファレンス	病棟業務	病棟業務

◆週間スケジュール

⑥公益財団法人積善会　曽我病院

	月	火	水	木	金
8:00～12:00	外来再診	外来初診	院長回診 知的障害者 施設診療	外来初診	外来初診
13:00～17:30	病棟業務 病棟カンファ	病棟業務 老人ホーム診療	病棟業務	病棟業務	病棟業務

◆週間スケジュール
⑦医療法人　丹沢病院

	月	火	水	木	金
9:00～12:00	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務
12:00～13:00				※医薬品情報 勉強会	
13:00～17:00	病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 病棟業務	外来診療 （禁煙外来） 病棟業務

◆週間スケジュール
⑧神奈川県精神保健福祉センター

	月	火	水	木	金
9:00 ～12:00			（下記参照）		
13:00 ～ 17:00			（下記参照）		

当センターでは、精神保健福祉センターならではの様々な内容の研修を提供可能であるが、当センターの性質上、定期的に予定が組まれていないものが殆どで、予め研修スケジュールを組んで提示することが困難である。

従って、研修の時期と期間が決まってから、以下の中からスケジュールを組んで行くこととなる。

当センターで高頻度に行われ、研修の場として提供できる主なものは次の通り。

地域支援

精神保健福祉コンサルテーション

保健福祉事務所等連絡会、市町村等連絡会、地域自立支援協議会　等々、多くの会議へのオブザーバー参加

精神科救急

精神科救急医療情報窓口受付業務（ソフト救急）

精神科救急にまつわる患者移送と措置診察（ハード救急）

精神科救急事例検討

精神保健福祉法 22 条、24 条、26 条通報実施検討カンファレンス

精神保健福祉センター法定業務

精神障害者手帳判定

自立支援医療費（精神通院）支給認定

普及・啓発、人材育成

精神疾患、精神保健福祉、自殺対策、メンタルヘルス等に関する講演の助手及び受講

その他　当センターが主催・共催する種々の事業・会議・イベントへの参加が可能

電話相談

こころの電話相談、ピア電話相談、依存症電話相談、自死遺族電話相談

その他

所内各課の会議への参加を通して、当センターの多岐にわたる業務全体を俯瞰する。

◆週間スケジュール

⑨医療法人社団秦和会　秦野病院

	月	火	水	木	金
8:15～ 9:00	院長回診	院長回診		院長回診	院長回診
9:00～12:00	外来陪診	外来陪診	ﾃﾞｲｹｱ活動支援	外来予診担当	病棟診察
12:00～13:00					
13:00～17:00	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ
17:00～18:00	症例検討会 医局会				脳波読影会

月に１回地域サービス連絡会議に参加

月に１回保健所における精神保健相談に参加

月に１回精神科救急当番における医療活動の実態を学ぶ

月に１回ないし２回医療観察法におけるケア会議に参加

月に１回アルコール勉強会に参加

◆週間スケジュール

⑩医療法人社団厚仁会　秦野厚生病院

月	午前	病棟実習あるいは外来での予診・陪診
	午後	病棟カンファレンス、医局カンファレンス
火	午前	病棟実習あるいは外来での予診・陪診
	午後	病棟実習 講義
水	午前	病棟実習あるいは外来での予診・陪診
	午後	病棟実習 講義
木	午前	病棟実習あるいは外来での予診・陪診
	午後	病棟実習　症例検討会
金	午前	病棟実習あるいは外来での予診・陪診
	午後	病棟実習 1 週間のまとめのカンファレンス

◆週間スケジュール

⑪東海大学医学部八王子病院

	月	火	水	木	金
8:00～12:00	外来診察 病棟診察	外来診察 病棟診察	外来診察	外来診察 病棟診察	外来診察 病棟診察
13:00～15:00	外来診察 病棟診察	外来診察 病棟診察	外来診察	外来診察 病棟診察	外来診察 病棟診察
15:00～17:00	病棟診察	病棟診察	病棟診察	病棟診察 （16:00 まで）	病棟診察
16:00～18:00				緩和ケアチームカンファレンス及び回診（18:00～18:30）新患紹介と申し送り	
17:00～18:30	新患紹介と申し送り	新患紹介と申し送り	新患紹介と申し送り		新患紹介と申し送り

月２回　木曜日：伊勢原の本院の児童グループ研究会に参加

月１回　火曜日：伊勢原の本院の臨床精神医学研究会に参加

①東海大学医学部付属病院

◆年間スケジュール

４月	オリエンテーション
	指導医の指導実績報告提出、教室研究会
５月	
	教室研究会
６月	
	教室研究会、講義、日本精神神経学会学術総会参加（任意）
７月	
	教室研究会、講義
８月	
９月	
	教室研究会、講義
１０月	
	教室研究会、講義、日本児童青年精神医学会参加（任意）
１１月	
	教室研究会、講義
１２月	
	教室研究会、講義
１月	
	教室研究会、講義
２月	
	教室研究会、講義
３月	研修プログラム評価報告書の作成
	教室研究会、講義、神奈川県精神医学会、神奈川県心身医学会、東京精神医学会参加・演題発表

その他	東海大学こころの臨床研究会（臨床心理士との研究会：年 2 回） 講義（年 15 回） キャンサーボード（月 1 回） リサーチミーティング（月 1 回） BMT カンファレンス（週1回） 産科・小児科カンファレンス（週 1 回） 緩和ケア・カンファレンス（週 1 回） 成人臨床精神医学研究会（月1回） 児童精神科医学研究会（月 2 回） チームカンファレンス（週1回）

◆年間スケジュール

②医療法人弘徳会　愛光病院

４月	院内オリエンテーション（３日間） 研修会（神精協主催）
５月	院内研修（禁煙教育） 講演会（日精協神奈川県支部・厚木医師会共催）
６月	院内研修（院内感染）　児童思春期研修会 神奈川県精神医療懇話会、日本精神神経学会学術総会
７月	院内研修（行動制限） 症例検討会（東海大学）、神精協神精診合同講演会
８月	院内研修（防災） 児童思春期研修会
９月	院内研修（医療安全）、職員伝達講習
１０月	院内研修（褥瘡対策） 日本精神科医学会
１１月	院内研修（院内感染）、院長講話 児童思春期研修会
１２月	院内研修（医療安全）
１月	院内研修（人権倫理と個人情報） 院内研修発表会
２月	院内研修（防災）
３月	職員伝達講習 総括的評価

※その他、各部門で開催する研修等へ随時参加可。

年間スケジュール
③医療法人社団朋友会　けやきの森病院

４月	オリエンテーション
５月	精神疾患の基礎知識の習得
６月	薬物療法の基礎知識の習得
７月	精神保健福祉法の基礎知識の習得
８月	各入院形態の基礎知識と実際
９月	精神療法の基礎知識の習得
１０月	薬物療法以外の治療法の可能性について
１１月	精神保健福祉法に基づいた実際の精神科医療について
１２月	精神科救急について
１月	福祉サービスなどの地域生活支援について
２月	訪問看護やデイケア、作業所等の見学
３月	研修の総括・研修報告と評価表の作成

◆年間スケジュール

④医療法人清輝会　国府津病院

４月	オリエンテーション
５月	県精神科研修会参加
６月	日本精神神経学会学術研修会参加（任意） 前年度研修実績報告書提出
７月	
８月	
９月	
１０月	日本児童青年精神医学会学会参加（任意）
１１月	精神神経学会参加・演題発表
１２月	
１月	
２月	
３月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成、神奈川県心身医学会参加（任意）

◆年間スケジュール

⑤医療法人社団青木末次郎記念会　相州病院

４月	感染症対策委員会研修会参加
５月	
６月	医薬品安全管理委員会研修会参加 医療機器安全管理委員会研修会
７月	褥瘡対策委員会研修会参加
８月	感染症対策委員会研修会参加
９月	医療安全管理委員会研修会参加 行動制限最小化委員会研修会参加
１０月	
１１月	医薬品安全管理委員会研修会参加
１２月	医療機器安全管理委員会研修会参加
１月	褥瘡対策委員会研修会参加
２月	医療安全管理委員会研修会参加 行動制限最小化委員会研修会参加
３月	

◆年間スケジュール

⑥公益財団法人積善会　曽我病院

４月	オリエンテーション
５月	県精神科集談会参加 市精神科集談会
６月	日本精神神経学会学術総会参加 前年度研修実績報告書提出
７月	市精神科集談会
８月	
９月	県精神科集談会参加 市精神科集談会
１０月	
１１月	地方精神神経学会参加・演題発表 市精神科集談会
１２月	
１月	県精神科集談会参加
２月	市精神科集談会
３月	総括的評価 研修プログラム評価報告書の作成

◆年間スケジュール

⑦医療法人　丹沢病院

４月	
５月	
６月	**新採用者研修** **日本精神神経学会学術総会参加**
７月	
８月	**納涼会**
９月	
１０月	**創立記念式典** **院内部署発表会**
１１月	
１２月	**医局忘年会**
１月	
２月	
３月	

※その他各学会の参加は随時

◆年間スケジュール

⑧神奈川県精神保健福祉センター

４月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **依存症関連研修会** **ピア電話相談検討会** **精神保健福祉関連連絡会議**
５月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **精神保健福祉関連研修会**
６月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策包括相談会、自殺対策関連研修会** **ピア電話相談検討会** **精神保健福祉関連研修会、精神保健福祉関連連絡会議**
７月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策包括相談会、自殺対策関連研修会** **依存症関連研修会** **精神保健福祉関連連絡会議、自殺対策関連連絡会議**
８月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席**

	ピア電話相談検討会
９月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策包括相談会、自殺対策関連研修会** **自殺対策講演会、自殺対策キャンペーン** **精神保健福祉関連連絡会議、自殺対策関連連絡会議**
１０月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策関連研修会、依存症関連研修会** **ピア電話相談検討会**
１１月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **精神保健福祉関連研修会、自殺対策関連研修会**
１２月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策関連研修会** **電話相談員研修、ピア電話相談検討会** **自殺対策関連連絡会議**
１月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **自殺対策包括相談会、自殺対策関連研修会** **依存症関連研修会**

	自殺対策関連連絡会議
２月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席** **退院後生活環境相談員研修** **ピア電話相談検討会** **精神保健福祉関連連絡会議**
３月	精神保健福祉コンサルテーション 精神科救急 精神障害者手帳判定、自立支援医療費（精神通院）支給認定 電話相談 **調査社会復帰課、相談課会議出席**

◆年間スケジュール

⑨医療法人社団秦和会　秦野病院

４月	オリエンテーション 総合研修（当院の目指す医療とは） 精神科関係の法律についてのセミナー開催
５月	精神神経学会参加
６月	第1回家族教室開催
７月	病院納涼祭（地域住民との交流）
８月	
９月	
１０月	
１１月	第2回家族教室開催
１２月	クリスマスライブコンサート（地域交流）
１月	市役所生活保護課との連絡会議出席
２月	精神保健会議に参加
３月	

◆年間スケジュール

⑩医療法人社団厚仁会　秦野厚生病院

4 月	オリエンテーション
5 月	
6 月	日本精神神経学会（任意） 日本老年精神医学会（任意）
7 月	
8 月	
9 月	
10 月	
11 月	日本精神科医学会（任意）
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	研修プログラム評価報告書作成

◆年間スケジュール

⑪東海大学医学部付属八王子病院

４月	オリエンテーション
５月	
６月	日本精神神経学会参加
７月	
８月	
９月	日本児童青年精神医学会参加 神奈川県心身医学会、日本サイコオンコロジー学会参加
１０月	
１１月	日本青年期精神療法学会参加 日本精神分析学会参加
１２月	日本総合病院精神医学会参加
１月	
２月	
３月	次年度勤務予定医師ガイダンス 神奈川県心身医学会、東京精神医学会参加